



「五ヶ瀬中学校・学校便り」

# 学 び 舎

第16号

令和4年12月12（月）発行

文責：校長 国生 尚

## 学校林から伝わる先人の想い

三ヶ所中学校出身の保護者であればご存知と思いますが、三ヶ所中学校には「学校林」が、町内に3箇所あります。五ヶ瀬中学校になって、この学校林を受け継ぎました。せっかく引き継いだ学校林の場所を確認すべく、森林組合のご協力をいただき、校長、教頭、支援室長、そして教育振興会長の4名で先日学校林の視察に行きました。

なかなか険しい道のり（ある地点からは車も入れない箇所あり）を進んでいくと、立派に成長した杉や檜の木が私たちを迎えてくれました。

3箇所の学校林の中でいちばん面積の広い大亀山学校林の入り口には、看板が設置されていました。その看板には次のように記されていました。少し長い文章ですが、学校林が設置された当時の想いを忘れてはならないと思いますので全文をそのまま紹介いたします。なお、文中の「三ヶ所中学校」は「五ヶ瀬中学校」に置き替えてお読み下さい。

三ヶ所中学校の学校林は、大亀山（16ヘクタール）、赤谷（1ヘクタール）、小戸川（1ヘクタール）の三箇所に分散し、当時の生徒やPTA、地区民の血のにじむような努力により、現在の美林として成長しています。

この大亀山学校林には、杉約4万本と檜が数千本植林されており、このような広大な学校林は県内、県外ともに例がなく、このことから、地域の方々の「三ヶ所中学校をすばらしい学校に、そして立派な青少年を育成したい」という熱意が伺えます。

この大亀山学校林は、昭和25年に初代校長の甲斐忠四郎氏、森林組合長の菊池熊蔵氏、三ヶ所村長の中崎大三郎氏のご尽力により町有地として取得され、当時の学校長はもとより村内有志の理解と協力の賜として、半永久的に町より無償で貸与されています。

その後、町教育委員会の指導、助言により造林、間伐等の森林整備事業を学校、地域全体で推進されました。その結果、昭和48年4月、全日本学校造林コンクールにおいて、文部大臣、農林大臣、日本放送協会会長より優秀賞として特選の荣誉に輝くなど、数多くの表彰を受けています。

私たちは、先代の方々の努力に敬意と謝意を表し、今後も学校林を大切に守り育て、三ヶ所中学校をすばらしい学校にすることをここに誓います。

平成17年 3月 吉日

※文中の「文部大臣」は「文部科学大臣」、「農林大臣」は「農林水産大臣」のことです。

学校林の場所を確認したのも初めてですが、このようなメッセージが記されていることも初めて知りました。今私たちは、先人たちの熱い想いに応えるべく五ヶ瀬中学校のために頑張っているか、生徒たちは現在の保護者や地域の皆様の願いに加え、先人たちの願いに応えるべく頑張っているか、改めて振り返る機会となりました。生徒には、この木々のようにまっすぐに成長してもらいたいと思います。



学校HPでも随時情報を発信しております。右のQRコードからアクセスできますので、HPも是非ご覧ください。

「QRコード」は、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

